

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	多方向かつ段階的に進行する細胞分化における運命決定メカニズムの解明
領域代表者	北村 俊雄（東京大学・医科学研究所・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	本研究領域は、「多方向かつ段階的に進行する細胞分化」の代表的かつ典型的な例である哺乳類の血液細胞分化をキーワードとし、細胞の分化停止と再開を人為的に制御する技術を用いて、細胞分化の分子機構の解明を目指している。研究組織は、分化のシグナル、エピジェネティックな制御、外部環境の影響といった各課題について、血液および免疫研究分野の実力のある研究者を中心に構成されており、研究成果が大いに期待できる。また、修飾ヒストン抗体のライブラリーと細胞分化および細胞周期に応じて発色変動する細胞系の開発は、細胞分化研究上、大きなブレークスルーになると期待できる。